

県建設業協会加世田支部パト

災害未然防止の努力を



厳しく診断したパトロール
＝加世田市の現場で

未開パトロールを実施。三大災害防止対策を最重点実施項目に厳しく診断し、現場の無事故無災害を促した。

出発に先立ち、上東支部長が「本県では、15年度に比べ労働災害が多発しており、当支部においても死亡災害は無いもの、休業4日以上労働災害が建設業を中心に増加している。雪の降る悪天候だが、安全施工サイクル運動を重点実施項目

県建設業協会加世田支部(上東信義支部長)は21日、会員の事業主をはじめ警察署、労働基準監督署、管内発注機関の主管課担当者、県建設業協会の新吉一秀事務委員(指宿支部事務理事)ら約70人が参加して、年度

に、厳しく診断してほしい」と挨拶。続いて、4班に分かれて各現場の診断に向かった。

このうち、中本拓治労働委員を班長とする4班は、前園富男副労働委員、加世田警察署の新山豊秋巡査部長ら約17人の診断員で、(株)下迫土木、(株)上東建設、(株)中村建設の3現場を、墜落・転落防止対策、安全施工サイクル運動の実施など、最重点実施項目ののちとて厳しく診断した。

パト終了後に、加世田市の南薩建設業会館に戻って行われた反省会では、各診断員から診断結果を報告。地域活動へも率先して参加し、業界のイメージアップにも積極的に取り組んでいるなど、各現場とも概ね良好と診断しながらも、第三者への安全確保策等が不十分などの指摘があった。さらに、災害防止対策において、望事項も付加された。

公共事業の必要性訴え

災害関連緊急砂防見学会

鹿児島土木

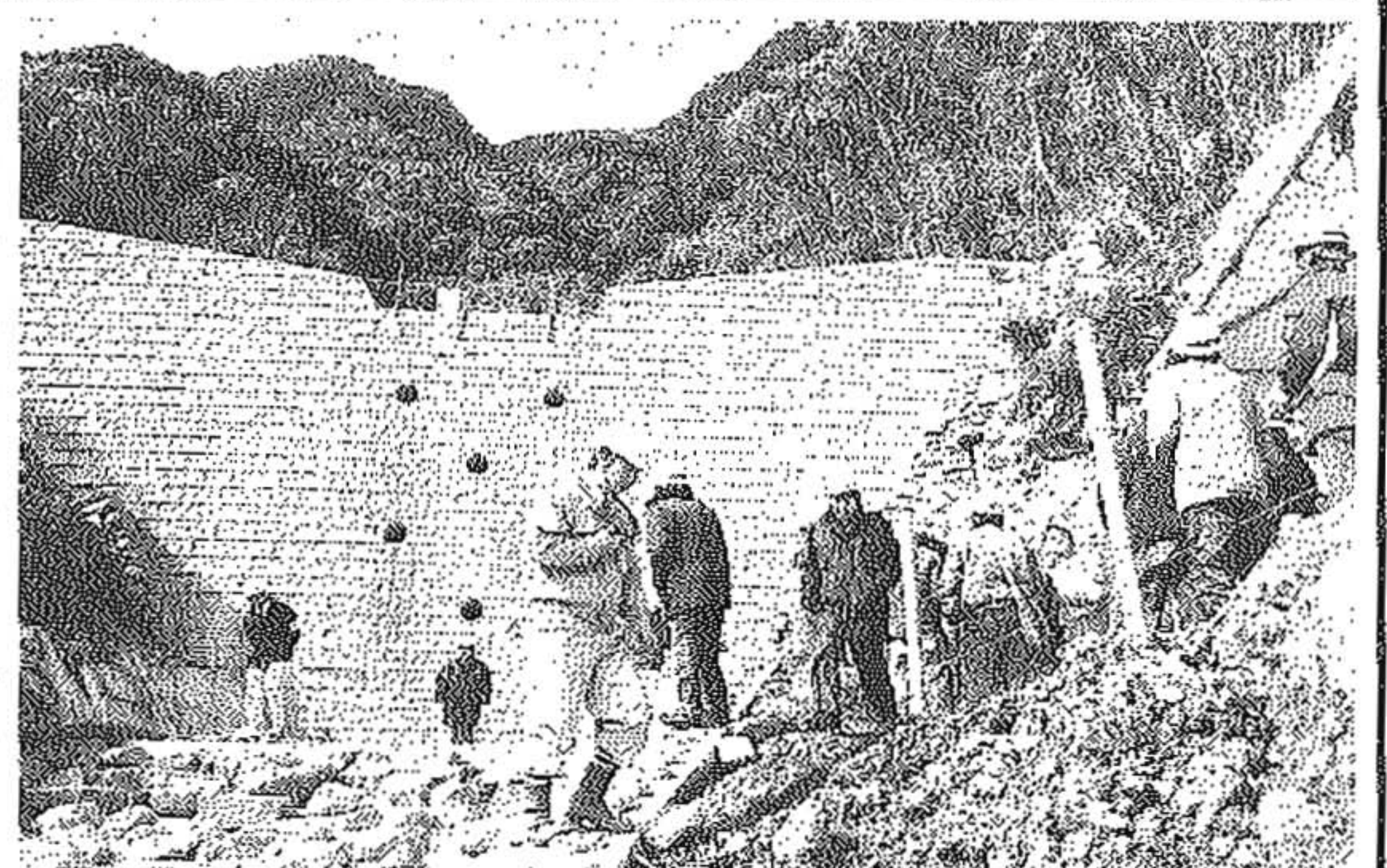
公共事業の重要性や必要性を理解してもらうため、鹿児島土木事務所(大重和哉所長)では21日、災害関連緊急砂防事業(平松谷第4)の完成に伴い、鹿児島市吉野町花倉の工事現場で地区民らを迎えた見学会を実施した。

生コン練りを初体験

栗野土木

県栗野土木事務所は21日、始良郡横川町の県道紫尾田牧園線の小原橋架け替えの現場で、同町佐々木小学校3年生と4年生の児童10人を対象に「公共事業現場見学会」を実施し、生コン練りや記念手形など初めての体験に、児童らは大喜びだった。

このほか、児童らは施工を担当している(有)福丸建設の社員があらかじめ準備した生コンに次々と手形を押し、小原橋完成後にその手形が道路敷の花壇に設置されると聞いた。歓声を上げていた。

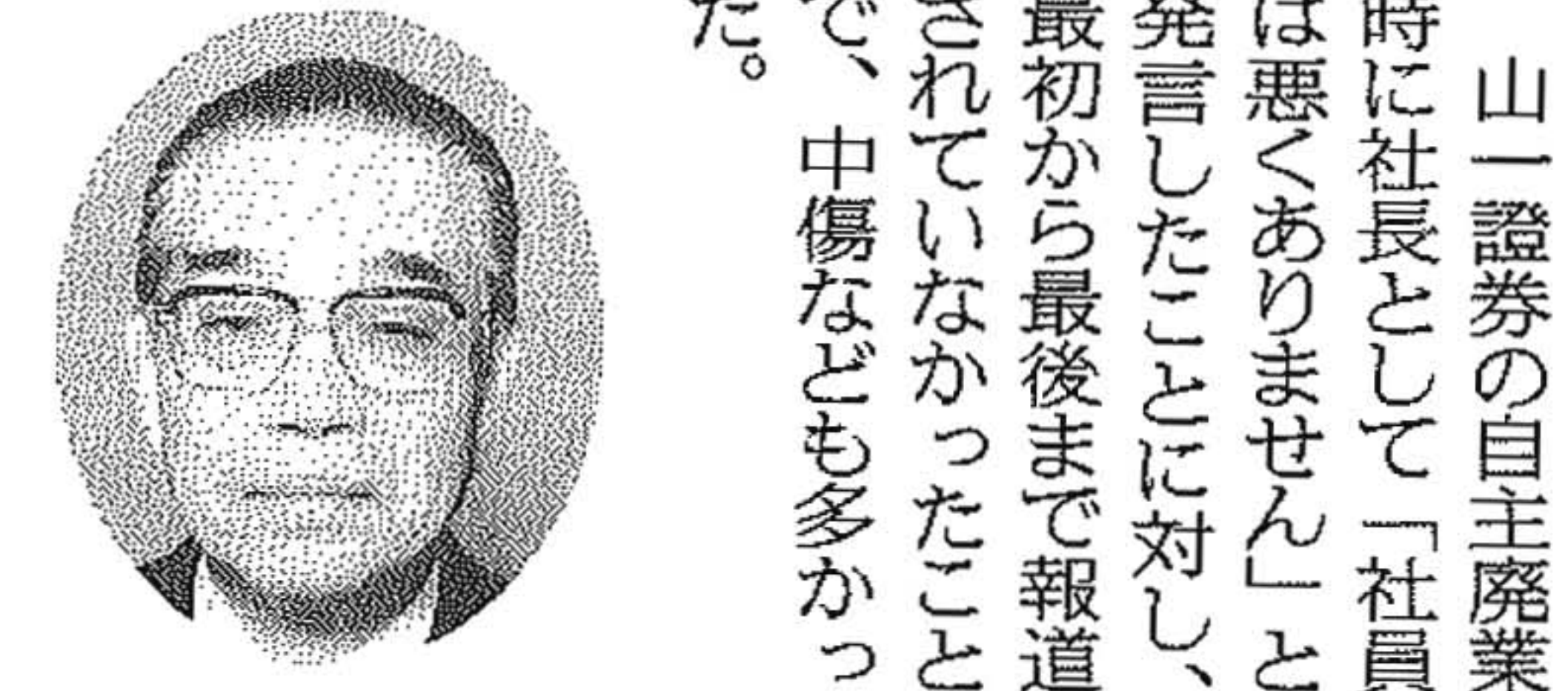


地区民らを招いた見学会
＝鹿児島市の現場で

は霧島屋久国立公園内のため、本堤前面部を着色した割石型を使用し、景観に配慮した砂防施設となった。概要の説明を行った。同事は、南生建設(株)鹿児島市)が担当。16年4月5日に着工し、来月25日に完成予定。

営業の原点は対面

野澤 正平さん



山一證券の自主廃業時に社長として「社員は悪くありません」と発言したことに対し、最初から最後まで報道されていなかったことで、中傷なども多かった。

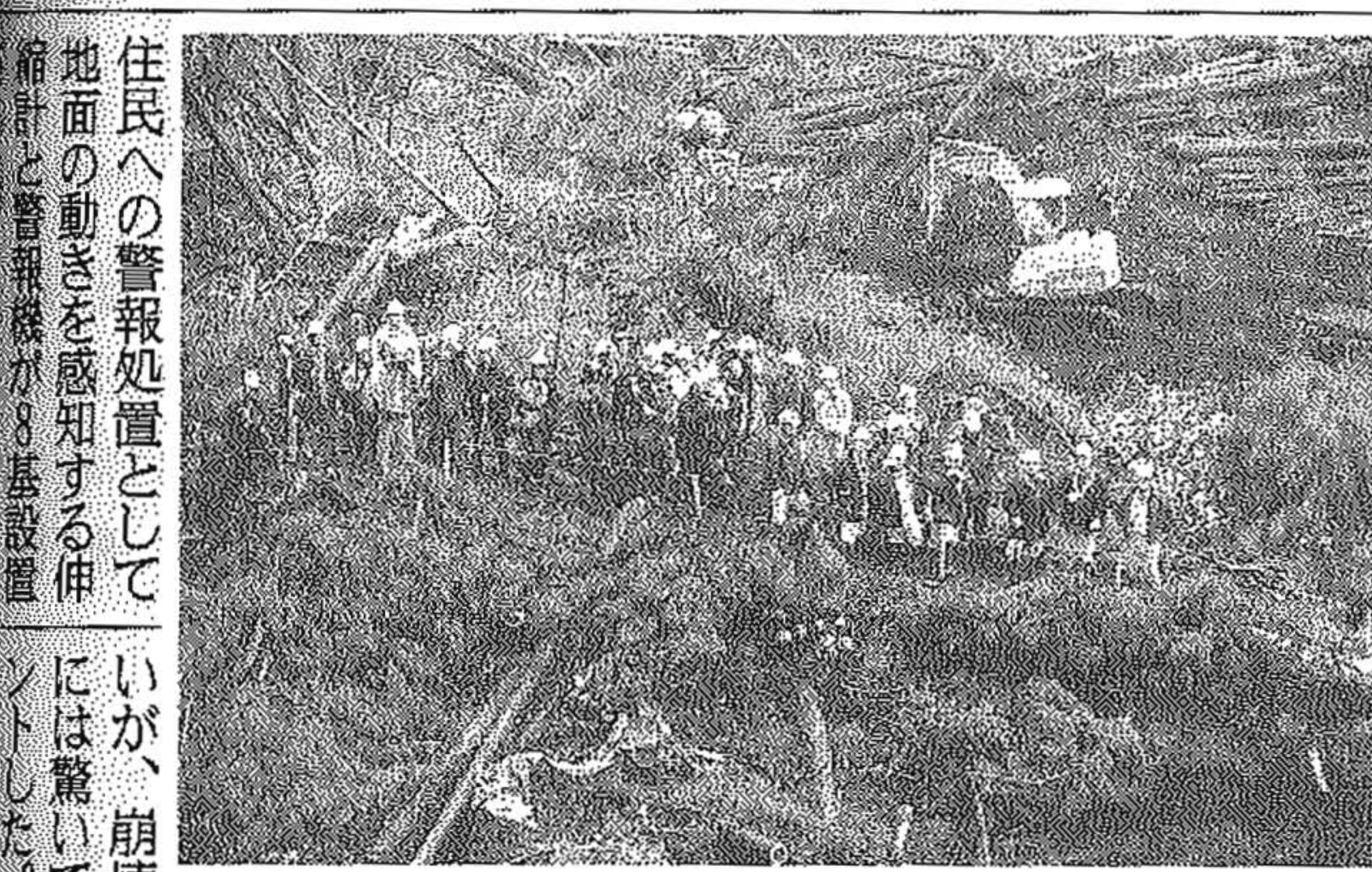
今は、センチュリー証券で全国を飛び回り、人に対面し営業することになります。会社名ではなく、名前では呼ばれるようにならないければ一人前ではないとも思っています。また、支店長時代は、社員は企業の財産と受け止め、店員の目つきを見て、社員の健康等を把握していました。

(センチュリー証券(株) 社長)

原因解明へ動き出す

吾平町 対策検討委が現地入り

肝属郡吾平町上名町で8日発生した土砂崩壊現場を19日、九州農政局が設置した有識者でつくる第三者機関「土砂崩壊対策検討委員会」の委員らが初めて現地に入り、現地調査を実施した。午後からは、鹿屋市の鹿屋商工会議所で調査報告や土砂崩壊メカニズムや応急復旧対策工事等の検討会も開かれた。



調査を行う委員ら＝吾平町の現地で

原因究明のためのボーリング調査や二次災害防止の作業を今月中旬に実施することなどが報告された。長谷川委員長は「現段階では、原因については、段階で報告できる段階ではないが、崩壊部分が深い。地面の動きを感知する伸縮計と監視カメラが8基設置されている」と説明した。検討会は被災

原因究明のため、ボーリング調査や二次災害防止の作業を今月中旬に実施することなどが報告された。長谷川委員長は「現段階では、原因については、段階で報告できる段階ではないが、崩壊部分が深い。地面の動きを感知する伸縮計と監視カメラが8基設置されている」と説明した。検討会は被災



全員で記念撮影＝横川町の現場で

は、初めに猪野学土木技師が橋の種類や工事内容等を図解で示し、薩摩産業(株)の榎谷良幸工場長代理がコンクリートの成分

厚生労働大臣指定教育訓練講座を行っている建設管理センター九州事業部は、17年度の国土交通大臣資格である土木・建築・電気等の各施工管理技士資格を取得するための「合格対策講座」を開く。鹿児島会場は3月3日から鹿児島市の市町村自治会館で予定、既に申し込みを受け付けているが、定員制のため早めの申し込みを呼びかけている。

来月3日、鹿児島市で

建設管理センター

この講座は、厚生労働大臣指定教育訓練講座となっており、キャリア形成促進助成金制度の適用も可能。問い合わせ及び申し込みは、建設管理センター(フリーダイヤル

圖 7-3-3